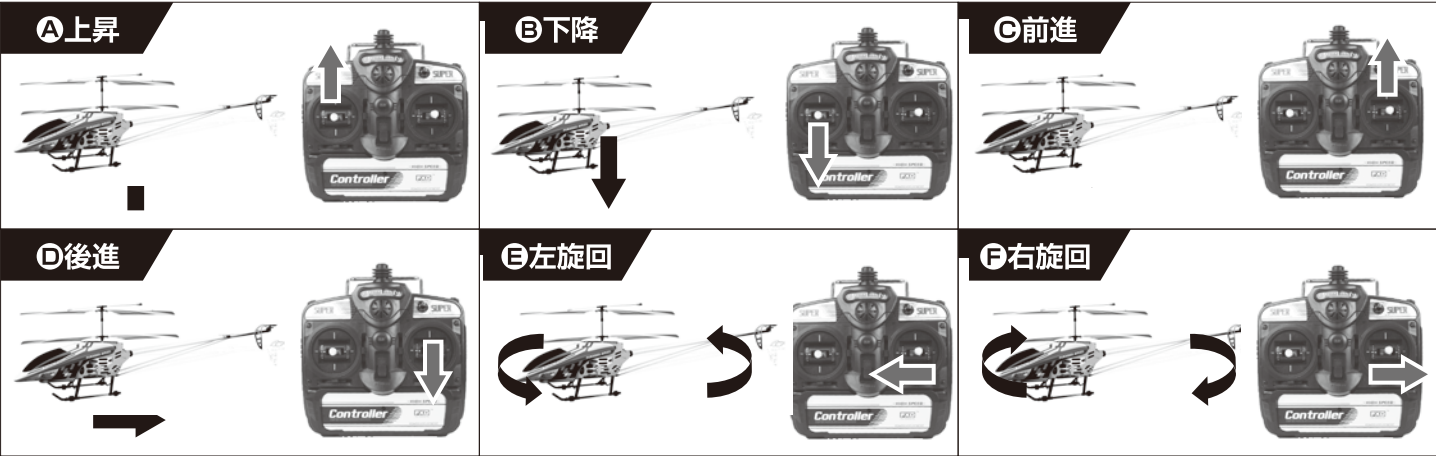
操作ミスにより破損した場合、修理費用はお客様のご負担になりますので予めご了承ください。慣れないうちはあまり高く飛行せず1.5m位の高さで下が柔らかい場所で練習をして一通りの操作が出来るようになってから徐々に高さを上げてください。

上昇:上昇/下降レバーを上げます。 **P4_図Ⓐ**
下降:上昇/下降レバーを下げます。 **P4_図Ⓑ**
ホバリング:上昇/下降レバーを調整して高度を一定に保ちます。以後の動作はこの状態を基本とします。
前進:ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ上げます。 **P4_図Ⓒ**
後進:ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ下げます。 **P4_図Ⓓ**
左旋回:ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ左に倒します。 **P4_図Ⓔ**
右旋回:ホバリング状態で、方向レバーを少しずつ右に倒します。 **P4_図Ⓕ**

《遊んだ後は》
①本体と送信機の電源をOFFにします。
②送信機から電池を外してください。
③異常個所や破損個所がないか、ゴミが絡まってないかチェックしてください。

《予備メインローターの交換方法》※破損したものは使用しないでください。
①破損したメインローターを付属のドライバーでネジを取って外します。
②付属の予備メインローターを取り付けます。
※ネジをしっかり締めてください。

《予備テールローター(大)の交換方法》※破損したものは使用しないでください。
①既設のテールローターを付属のドライバーでネジを取って外し垂直に引き抜きます。
②付属の予備テールローター(大)を取り付けます。
※奥までしっかり挿し込んでください。

アフターサービスについて

故障かな?と思ったら/アフターパーツ(別売部品)の販売/修理については下記カスタマーサポートへ電話、FAXもしくはメールでご相談ください。

製品サービス保証書

■無料修理規定
1. 取扱説明書等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社カスタマーサポートへ必要事項を記入した保証書を添えて製品をお送りください。
3. ご贈答品、ご転居等で購入先がご不明の場合は株式会社トーコネにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害や異常電圧による故障及び損傷
（ニ）本書の提示がない場合
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、或いは字句を書き換えられた場合
（ヘ）ご使用による汚れ
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warrnty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
※お客様にご記入頂いた個人情報（保証書記入内容）は、保証期間内の無料修理対応及び安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

製品名		型　番	
販売店名		お買上げ日	年　　月　　日

保証期間:お買い上げ日より6ヶ月 ※ご記入のない保証書は無効となり、無料修理はできなくなります。

ふりがな		E-MAIL	
ご氏名		ご住所	〒

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。保証書は必ず「販売店名」「お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より6ヶ月です。

株式会社 トーコネ カスタマーサポート
〒175-0094 東京都板橋区成増 5-23-11
TEL:03-3939-4693(代表) FAX:03-3939-9427(代表)
メール:trading@to-conne.co.jp
ウェブ:http://www.to-conne.co.jp/trd
営業時間:平日9時~12時/13時~17時

極空 GoCoo GIANT 取扱説明書

ご使用していただく前に

●この取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全に遊んでください。 ●取扱説明書は大切に保管してください。
●ヘリコプターを飛ばす前に必ず付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を厳守してください。
●ヘリコプターの操縦は、飛ばす時の状況や操縦者のミスなどにより他人に怪我をさせたり物を壊してしまうなどの予期せぬ事故が起こる可能性があります。ぜひ、お客様が事前に個人賠償責任保険などにご加入のうえ、お遊びいただくことをお勧めします。詳しくは一般の保険会社にお問い合わせください。

⚠ 注 意

●墜落や衝突による破損、水没、紛失、事故、怪我などには十分注意してください。
・操作ミスで墜落や衝突により破損した場合、修理費用はお客様のご負担になります。飛行中または落下などによる、器物の破損や人身への事故への保障は一切いたしません。また、飛行されたあとの機体の破損等は保証対象外となります。
・水没、紛失、怪我、事故、トラブルについて当社は一切の責任を負いません。
●プロペラは高速で回転するため、目などに当たると失明などの危険があります。飛行させる場合、飛行させる範囲に人がいないことを確かめてから操縦を始めてください。

《高速で回転するローターは怪我をする危険があります。》
●ローターは高速で回転するため、目などに当たると失明などの危険があります。飛行させる場合、飛行させる範囲に人がいないことを確かめてから操縦を始めてください。
●ローターに指や髪の毛、衣服などが巻き込まれないように注意してください。巻き込まれた場合怪我をする危険があります。
●幼児や小さいお子様の手の届くところで操作しないでください。回転するローターで怪我をする危険があります。
●こどもが近寄らないよう注意してください。

《内蔵されているリチウムイオン電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火などの可能性があります。重大な事故の原因となりますので下記の事項に注意してください。》
●ショートさせたり、分解・改造したり、火の中に入れないでください。火災、怪我、思わぬ事故の原因になります。
●火気の近く、直射日光のあたる場所、高温多湿になる場所、車中での充電・保管はしないでください。
●万一、電池からもれた液が目に入った場合はすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服についたときは水で洗ってください。
●水に濡らしたり、加熱や火の中に投入したり、分解改造は絶対にしないでください。過熱、発火、火災の原因となります。
●幼児や小さな子供の手の届くところでは充電しないでください。
●長期保管の際には常温で、湿気のない安全な場所に保管してください。
●充電方法や充電時間は、取扱説明書に記載されている方法を厳守してください。
●充電は充電時間を厳守し、長時間放置せず目の届く、燃えやすい物の無い場所で行ってください。
●充電中に下記の異常が起きた場合は、すぐに充電をやめコード類を外した上で、カスタマーサポートまでご連絡ください。
・異常に熱くなる、異臭・煙が出た、バッテリーまたは本体が膨らんだ、コード類が溶けた
●充電が完了したら、充電プラグを充電器から外してください。
●使用後は必ず電源スイッチをOFFにしてください。0Nのままにしておくと内蔵電池に悪影響を及ぼし、充電できなくなることがあります。また、思わぬ事故の原因になる恐れもあります。
●充電中は叩いたり、落としたりの衝撃を与えないでください。
●充電が完了したバッテリーをすぐに再充電しないでください。

《送信機に使用する単3アルカリ電池を誤使用すると、発熱・破裂・液漏れの危険がありますので下記の事項に注意してください。》
●電池は正しくセットし、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。
●送信機の電池は単3アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。また粗悪な電池も使用しないでください。
●電池の+・ー(プラス・マイナス)を正しくセットしてください。
●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
●ショートさせたり、充電、分解、過熱、火の中に投入したり、水に濡らしたりしないでください。
●万一、電池から漏れた液が目に入った時はすぐ大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に付いた時は水で洗ってください。
●送信機は使用した後必ず電源スイッチをOFFにし、電池を外してください。電池の消耗や思わぬ事故の原因になる恐れもあります。

《思わぬ事故の元になりますので、下記に注意してください。》
●使用前に必ず本体、送信機に破損個所がないか確認してください。破損した状態では飛ばさないでください。
●本体や送信機の分解や改造をしないでください。また異物を入れないでください。
●誤作動を防ぐため、電源は必ず飛行させる直前に入れ、それ以外の時は必ず電源をお切りください。
●対象年齢未満の子供のいるところで使用しないでください。また、対象年齢未満の子供に使用させないでください。思わぬ事故・怪我をするおそれがあります。
●本体、送信機(充電器)の充電端子(金属部分)に手を触れたり針金などの異物を入れないでください。
●操縦中は腰掛けたり、寝転んだりせず、何かあったらすぐに動ける体勢で操縦してください。
●落としたり、衝撃を与えないでください。また、各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
●分解、改造をしないでください。破損変形し、修復不可能な場合には使用しないでください。
●使用した後は、必ず小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
●夏場の締め切った車の中などの高温になるところでの保管は絶対にしないでください。またヒーターなどの温風が出るところに置かないでください。
●破損したローターで使用しないでください。破損したローターは接着しての使用はできません。
●ローターに無理な力が加わった状態で動作させないでください。故障の原因になります。
●怪我の原因になりますので送信機のアンテナを曲げたり折ったりしないでください。

《その他の注意》
●飛行中は本体から目を離さないようにしてください。
●気温の低い時は充電池の性能が落ちることがあります。できるだけ暖かい場所で遊んでください。
●飛行時に本体、ローターが家具や壁にぶつかりそうになったら操作を中止してください。
●初心者の方は必ず送信機の操作に慣れた上で、低い高さで充分練習をしてください。
●送信機や機体の電池が消耗すると、制御できる距離が短くなったり、正しく飛行できなくなります。速やかに充電、電池を交換してください。
●気温5℃以下の場所では使用しないでください。充電池の性能が十分に発揮されず、正常な操作ができないおそれがあります。
●破損・変形を防ぐため、運搬時や長期保管するときは電池を抜き、パッケージにいれて保管してください。
●機体は風の影響を非常に受けます。風のある場所では流されたり正常に飛行できない場合があります。

飛ばす場所について
●周囲に破損しやすいものがある場所や、人がいる場所では飛ばさないでください。

●道路、線路、空港、電線の近くなど危険な場所では使用しないでください。屋外では安全な場所を選んで使用してください。
●電線にからんだ時は電力会社や駅などに相談してください。感電の危険がありますので絶対に自分で取ろうとしないでください。
●人がたくさんいる場所、家屋が密集している場所、道路などでは飛ばさないでください。怪我をさせたり、事故を起こす危険があります。
●風のある日は、流されて墜落・破損や紛失のおそれがありますので飛行させないでください。
●風のない穏やかな日に遊んでください。雨天・降雪・雷の天気には絶対遊ばないでください。
●屋外での使用中に雷が鳴り出したらすぐに使用を中止してください。落雷の危険があります。
●近くで同じ周波数を使用して他の人が遊んでないか確認してから遊んでください。
●周囲に川や沼あるいは背の高い花が生い茂ってるような場所は避けて、万が一風にながされても安全な場所を選んでください。水没・紛失の可能性があります。
●高い建物や樹木のそばでの飛行は避けてください。乱気流が起こる可能性があります。
●地面が草地のような柔らかい場所を選んであそんでください（墜落時ダメージを軽減できます）
●風がない場所を選んで遊んでください。地上では無風でも上空では強風の場合がありますので気をつけてください。
●上昇気流が強すぎると下降しにくく、高度を上げ過ぎると操作不能になります。
●気温の高い無風時には強い上昇風が発生する場合がありますので注意してください。
●斜面や土手などでも、下からの風で上昇風が発生する場合がりますので注意してください。

電波について

●周囲でラジオコントロールの車・ヘリ・飛行機・ボートなど使用されてないことを必ず確認してください。電波が混信して操作できないことがあります。
●ラジオコントロール製品以外の電波でも誤動作する場合があります。その場合、場所や時間を変えて飛行させてください。
●電波が届く範囲を超えて飛行させた場合は、操作不能になり墜落しますので十分注意してください。
●場所によって電波の状況が悪い場合があります。

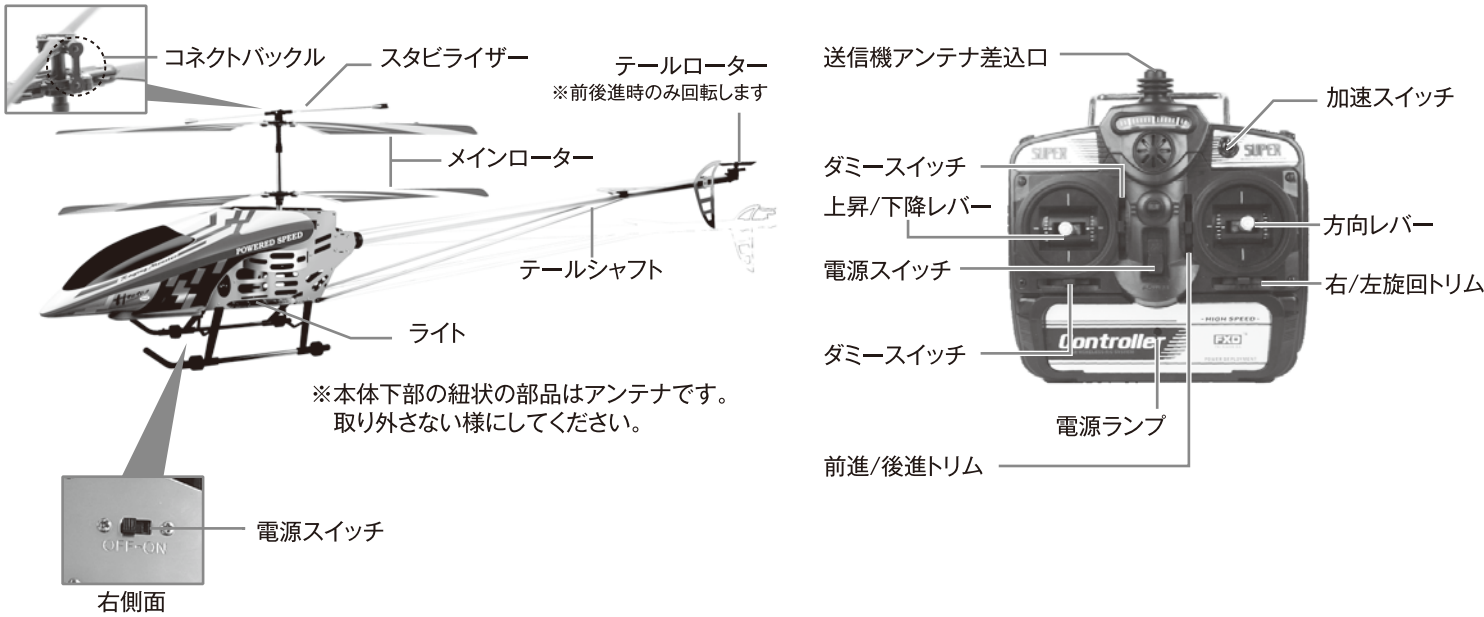
セット内容

●本体×1　●送信機×1　●送信機アンテナ×1　●ACアダプタ×1　●予備メインローター×4
●予備テールローター（大）×1　●取扱説明書兼保証書　●ドライバー×1　●ネジ×10

仕　様

●対象年齢：15歳以上
●使用周波数帯：27MHz（赤）；40MHz（青）
●アクション：上昇・下降、左右旋回、前後進、ホバリング、加速
●飛行時間：約6～8分
●操作距離：最大50メートル
●充電時間：約2～3時間
※充電の方法について、取扱説明書の方法を絶対に守ってください。
●飛行場所：屋外専用

●電源：
（本体）リチウムイオン充電池（内蔵）
（送信機）単3アルカリ電池×8本（別売）
※電池は正しくセットし、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
　長時間使用しない場合は電池を抜いて保管してください。
※飛行時間、充電時間はあくまでも目安です。使用状況によって変わります。
※送信機の電池は単3アルカリ電池を使用してください。充電式電池、マンガン電池は使用しないでください。また粗悪な電池も使用しないでください。

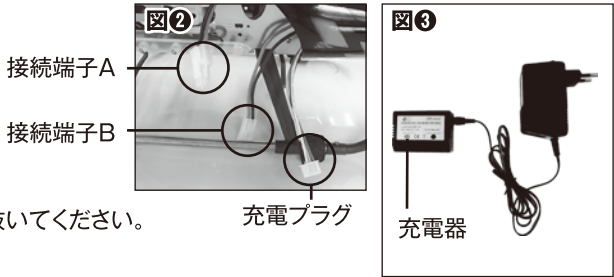
各部の名称

送信機のセット方法

①送信機の電源スイッチをOFFにします。
②電池カバーを下にスライドさせてカバーを外します。
③単3形アルカリ乾電池を電池の向き（プラス・マイナス）を確かめて正しく入れてください。
④電池カバーを取り付けて上にスライドさせて閉めます。
⑤アンテナを送信機のアンテナ差込口に入れて時計回りに回して締めます。　図❶※強く締めないでください。
⑥アンテナを最長まで伸ばします。

図❶

充電方法

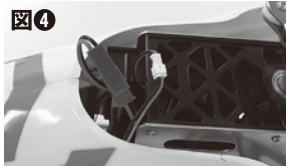
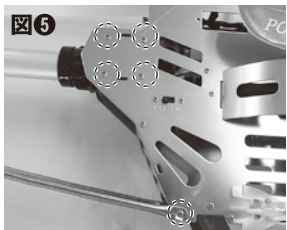
①本体の電源スイッチをOFFにします。
②電源接続端子A、Bを外します。　図❷
③ACアダプタのプラグを充電器に接続します。　図❸
④ACアダプタをコンセントに差し込みます。
⑤充電器の電源ランプ（緑）が点灯します。
⑥本体の充電プラグを充電器に接続します。
⑦充電器の充電ランプ（赤）が点灯します。
⑧充電完了後は充電器の充電ランプ（赤）が消灯になります。
⑨充電完了後はACアダプタをコンセントから抜き、本体の充電プラグを充電器から抜いてください。

図❸
充電器

《本体に使われているリチウムイオン電池の充電、保管について》
●充電は充電時間を厳守し、長時間放置せず目の届く、燃えやすい物の無い場所で行ってください。
●充電中に下記の異常が起きた場合は、すぐに充電をやめコード類を外した上で、カスタマーサポートまでご連絡ください。
　・異常に熱くなる・異臭、煙が出た・バッテリーまたは本体が膨らんだ・コード類が溶けた
●充電中は叩いたり、落としたりの衝撃を与えないでください。
●直射日光の当たる場所、高温になる場所、車中での充電、保存は絶対にしないでください。また、本体を水や火の中に入れたり、分解、半田付けは絶対にしないでください。
●長期保管の際には電源接続端子A、Bを外して常温で、湿気のない安全な場所に保管してください。

《リチウムイオン電池の上手な使い方》
●リチウムイオン電池は過放電させると使用できなくなりますので以下のことに気をつけて過放電しないように注意してください。
　・上昇/下降レバーを上げても上昇できなくなったら飛行をやめ、充電してください。
　・充電してあっても少しずつ自然に放電してしまいますので、長時間使用しないで保管する場合は時々充電して完全に放電させないようにしてください。
●寒いところでは、バッテリーの性能が低下し、使用できる時間が短くなったり、十分な出力が得られないことがありますので、暖かいところで使用してください。
●飛行後電池がない状態で保管しないでください。少し充電してから保管してください。

飛ばす前に

《飛行環境と注意》
●周囲に人や壊れやすい物等、障害物が無い、動きやすい場所を選んでください。
●本体は必ず水平な位置に置いてください。
●飛行中は本体から目を離さないでください。
●送信機のレバー操作は常に少しずつおこなってください。
　※急な操作は本体のバランスをくずします。
　※上昇より下降が難しいです。ゆっくりレバーを操作してください。

⚠ 落下した時や、ローターが地面、木などに押さえつけられている状態の時はすぐに上昇/下降レバーを一番下に下げてください。

《テールシャフトの取り付け方法》
①テールシャフトの先端部のコードを機体の中を通し図のようにテールシャフトのコードの端子と機体の端子を合わせて接続します。　図❹　　※向きに注意してください。
②付属のドライバーでネジを取り付けてしっかり締めます。　図❺

操作方法

《電源の入れ方》
まず本体の電源から（本体の電源を入れた後送信機の電源を入れてください。）
①電源接続端子A、Bを接続します。
②電源スイッチをONにします。
次に送信機の電源（送信機の電源を入れる前に必ず本体と十分安全な距離を取ってください。）
①上昇/下降レバーを一番上まで必ず上げてください。
②電源スイッチをONにします。
③電源ランプが点滅します。（※点滅している間は操作できません。）
④上昇/下降レバーを一番下まで下げます。電源ランプが点滅から点灯に変わり、本体の操作が可能になります。

※ローターの吹き降ろし風
　地面から30cm位までの高さでホバリングする場合、機体のローターから吹いた風の影響を受けてふらふらしたり、後進したりします。地面効果と言って、風の影響を受けやすいので注意が必要です。

《トリム調整の仕方》
①本体を平らな場所に置き本体後部が操縦者に向くようにしてください。
　※操縦者は機体の後方1～2mの位置に立ってください。
②送信機の上昇/下降レバーをゆっくりと少しずつ上げて本体を離陸させてください。
　本体が前に進んでしまう場合：送信機の前進/後進トリムを下に下げて再度確認してください。
　本体が後に進んでしまう場合：送信機の前進/後進トリムを上に上げて再度確認してください。
　本体が右に旋回してしまう場合：送信機の右/左旋回トリムを左に移動して再度確認してください。
　本体が左に旋回してしまう場合：送信機の右/左旋回トリムを右に移動して再度確認してください。